

第2回 むつ市花・木・鳥選定委員会 会議概要

日 時：平成21年7月8日（水）午後1時27分～午後2時29分

場 所：下北文化会館 第三集会室

○出席者（13名）

宮浦 雅子 委員（委員長）	石田 文次 委員
福島 利一 委員	笠嶋 武夫 委員
櫛引 由昭 委員	八戸 信一 委員
山崎 太郎 委員	福士 きよ 委員
星 和夫 委員	古川 博 委員
和田 久 委員	二本柳 孝 委員
西田 キイ 委員	

○欠席者（2名）

布施 昭則 委員（職務代理者）	杉山 博利 委員
-----------------	----------

○事務局（5名）

宮川 淳一 企画部次長	伊藤 道郎 企画部副理事企画課長
木村 龍次郎 企画課主幹企画グループリーダー・主幹	
青山 諭 企画課企画グループ主任主査	
新谷 智文 企画課企画グループ主任	

◎次第

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 議 事
 - (1) 審 議
 - (2) その他
4. 閉 会

1. 開 会

(事務局)

本日の出席委員は13名で、委員の半数以上に達している、会議が成立していることを報告する。

(前回の欠席委員の紹介)

2. 委員長あいさつ

(委員長)

皆さん、こんにちは。先日は緊張していて、もしかしたらご発言しにくかったのではないかと反省しております。今日は3回ある中のとても大事な会議です。本当に皆さんのお気持ちやご意見をやわらかく、そしてたっぷりと出せるような会議になることを念じつつ、進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議 事

(委員長)

それでは議事に入らせていただく。審議に入る前に、改めて審議の全体的な流れと本日の審議の進め方等について確認したい。

まず、審議の全体的な流れであるが、前回は、組織会や様々な説明の後ということで、意見交換といった範囲で終えた。本日は具体的な審議に入り、花・木・鳥それぞれ、候補となる名称を絞り込むまで進めたい。そして、第3回委員会において、市の花・木・鳥の名称の選定について決定するとともに、選定理由を付した市長への答申内容をまとめることとしたい。

次に、本日の審議の進め方であるが、花・木・鳥の順に進め、それぞれの区分について2～3程度の選定候補を絞り込むまで審議したい。審議の状況によっては複数の候補の選定に至らず、1つに限定される可能性もあると思うが、その場合は当該区分の名称は確定とし、次回の委員会で答申に付する選定理由を含め正式に決定することにしたい。

次に、名称の選定にあたっての確認であるが、前回、説明があった選定の基準には、むつ市のシンボルとしてふさわしいものであることや、市民に親しまれ、郷土への愛着を深められるものであることなど、4つの基準が示されている。このことから、一般市民が分からない特殊なものは、市の花・木・鳥には馴染まないものと言える。

この後の審議では、委員から花・木・鳥それぞれの選定の候補を伺うが、発言に際しては、その名称がカタカナ、平仮名、漢字のいずれか、また、どのような理由かをお話しいただきたい。

(1) 審 議

【むつ市の花について】

(委員長)

まず、市の花について審議したい。

はじめに、欠席委員から意見が寄せられているので、事務局からお願いしたい。

(事務局)

欠席委員から届いている意見について報告する。

市の花は、カタカナで「ハマナス」を推薦したいとのことである。

(委員長)

欠席委員の意見を報告してもらった。

それでは、委員の意見を伺いたい。

(委 員)

子供の頃から慣れ親しんでいるハマナスである。サクラもいいが、一般的にありふれているという気がする。大畑町や川内町にはサクラ街道があるので、ハマナスに抵抗がある可能性もあるが、海岸線でひっそりと咲き、力強く生きている植物で、色と匂いがすばらしいということからハマナスである。学術的にはカタカナであると説明されたが、親しみやすさを考え、平仮名で「はまなす」としたい。

(委員長)

それでは、次の委員はいかがか。

(委 員)

確かにサクラというのは全国的だが、春に咲いて終わるという感じがあるので、春から秋までずっと楽しめることから、カタカナで「アジサイ」としたい。

ハマナスの話が出たが、「ハマナス」も春に咲いて秋に実を結ぶということから、共鳴することができる。

アジサイは、恐山街道へ植えている人がいるなど、親しまれるのではないかという気がする。

(委員長)

「アジサイ」が主で、「ハマナス」は共鳴できるということ。

では、次の委員はいかがか。

(委 員)

私は、大畑から関根までの10キロメートルほど、大畑桜ロードがあるのでサクラと

思っていたが、先の委員の意見も踏まえて、カタカナで「ハマナス」がいいと思う。

(委員長)

では、次の委員はどうか。

(委員)

私の地区では、ハマナスは小さい頃に少しあったが、今はあまり見ることがない。サクラに関しては、海に面して咲いているサクラが脇野沢の愛宕山公園だけである。意見募集を見てもサクラが多く、みんなが知っているとなるとサクラである。ハマナスもいいが、平仮名で「さくら」としたい。

(委員長)

それでは、次の委員にお願いしたい。

(委員)

前回、花・木・鳥に関していろいろ説明を聞いたが、この地域はハマナスがよろしいのではないかと思う。理由は、下北半島は四方を海に囲まれており、ハマナスは浜辺に自生している。県外の方々にも、観光面でハマナスを出したほうがイメージ的によろしいと思う。市内の団体にハマナスを手入れし育てるという趣旨の事業もあり、様々な団体にハマナスを推奨していることから、私は「ハマナス」としたい。平仮名、カタカナはどちらでも良い。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委員)

所属する団体では、シンボルマークとしてハマナスの花を採用しているので、平仮名で「はまなす」を推薦したい。

(委員長)

次の委員はいかがか。

(委員)

私が所属する団体の会合で第1回委員会の話をしたところ、やはり「ハマナス」ということになったが、カタカナ、平仮名というところまでは検討していない。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委員)

市民に意見募集をした集計結果は、ある程度は参考とする数字だと思われる。

また、合併前はそれぞれの市町村に花・木・鳥があり、むつ市の場合は、「はまなす」、「ヒバ」、「おおはくちょう」であったが、合併で新たな気持ちで制定するということを考えるならハマナスもいいのだが、アンケート結果や観光面で考えるならカタカナで「サクラ」がいいのではないかと思う。

(委員長)

次の委員、いかがか。

(委員)

ほかの委員の意見を聞くと、私はみな下北にふさわしい花、すてきな花であると思うので、各委員の意見にお任せすることとしたい。

(委員長)

それでは、次の委員はいかがか。

(委員)

ハマナス、サクラ、アジサイのいずれもすばらしい花だが、皆様の意見にお任せをしたい。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委員)

私は、ハマナスとサクラを並列提案し、「ハマナス」はカタカナ、「さくら」は平仮名としたい。どちらもいいが一長一短あり、ハマナスは、四十代以降の人は下北の花、海岸線に咲く花、お盆の時に墓に供えるというイメージが湧くと思うが、今の小学生や中学生、それから二、三十代の人はイメージしづらいと思う。その点、サクラは全国的であり、日本人が好むポピュラーな感じはするが、ローカル色を出すのであればハマナスとなる。並列で提案するが、ウエイトはさくらと考えている。

(委員長)

それでは、次の委員はいかがか。

(委員)

サクラは大畑桜ロードをはじめ、早掛沼公園、水源池公園、愛宕山公園などに咲いおり、ハマナスは野辺地からの国道279号沿いや斗南藩土の上陸した場所などにあるが、どちらかといったらハマナスとしたい。優しい感じのする平仮名の「はまなす」にしたい。

(委員長)

委員の意見として、「ハマナス」、「アジサイ」、「サクラ」の3種類が出た。ハマナスが数では多いが、今日の会議では絞り込みであるので、この3種類に絞られたということによろしいか。

(委員から「異議なし」の声あり。)

それでは、花の部分については、この3種類としたい。

【むつ市の木について】

(委員長)

続いて、市の木の審議に入りたい。

まず、欠席委員の意見を事務局からお願いしたい。

(事務局)

欠席委員からの意見は、木の名称については、カタカナの「ヒバ」となっている。

(委員長)

欠席委員からの意見は「ヒバ」である。

では、市の木について、各委員から意見を聞きたい。

(委 員)

私もヒバがいいと思うが、前回、「あおもりヒバ」という話があったが、ここは下北なので、下北ヒバとしたい。下北は漢字、カタカナでヒバの「下北ヒバ」がいいと思う。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委 員)

青森市の場合は「あおもりとどまつ」としており、あおもりと名前の前に冠すれば、やはり全国的に宣伝効果がある。その点から、平仮名であおもり、そしてカタカナでヒバの「あおもりヒバ」としたい。資料を見ると4市町村ともヒバとなっているが、日本三大美林は青森ヒバとなっており、あおもりを付ければ県の木ではないかとの感じを与えるかも知れないが、この辺で発想を転換してあおもりと付けたい。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委 員)

募集の結果もヒバである。

木を選ぶ理由に、むつ市にたくさんあるかどうかということも条件にあるので、ヒバ、

スギ、ブナが多いということを提供して、私は意見放棄したい。

(委員長)

では、次の委員にお願いしたい。

(委 員)

私は下北を代表して、自然の木ということで「ブナ」を推薦したい。白神に限らず下北もブナでアピールしたいと思う。ブナはカタカナである。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委 員)

やはり意見募集の結果等を踏まえ、カタカナの「ヒバ」としたい。

(委員長)

次の委員はいかがか。

(委 員)

ヒバは小さいときから愛着があるし、私の所属する団体の意見としては、カタカナで「ヒバ」である。

(委員長)

では、次の委員にお願いしたい。

(委 員)

木は「ヒバ」を推薦したい。カタカナ、平仮名については、皆様方の審議の結果に従いたい。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委 員)

私の所属する団体では、カタカナで「ヒバ」としたい。下北はスギも多いが、ヒバは高級感もあり、日本三大美林の一つでもあるので、「ヒバ」を推薦したい。

(委員長)

では、次の委員はどうか。

(委員)

平仮名の「ひば」としたい。カタカナより馴染みがあることと、ヒバが高級で大量に伐採をし、数が少なくなっていることから、市の木にしてもっと大事にするために、平仮名で「ひば」としたい。

(委員長)

では、次の委員にお願いしたい。

(委員)

伊勢神宮内にもヒバ材が使われるということになったようなので、私もカタカナで「ヒバ」としたい。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委員)

下北を代表するヒバとしたい。ヒバは冬に花が咲くので、非常に力強さや寒さに耐えるということに共感を得ることができるのではと思い、平仮名で「ひば」としたい。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委員)

私もヒバである。前回、ヒバのいろいろな話を教えてもらい、ヒノキに勝るとも劣らないものであるなど聞いたので、何かロマンを感じて、カタカナで「ヒバ（アスナロ）」としたい。子供たちにアスナロということで教えれば、ヒノキとヒバの「明日にはなる」という話で、子供たちに希望を持たせる一つの教育的な材料にも使えるのではないかと思ひ、アスナロを入れたらどうかということである。

(委員長)

12名の委員の意見が出た。木に関しては、お一方がブナという意見であるが、あと全員がヒバであるので、ヒバということに意見集約したいが、いかがか。

(ブナを発言した委員から「よろしい」との声あり。)

あと、「あおもり」や「下北」、「アスナロ」を付ける等意見があったが、これらは次回に検討したい。今日はヒバが大半であったので、ヒバ一種に絞り込みたいが、よろしいか。

(委員から「異議なし」の声あり。)

では、そうさせていただきます。

【むつ市の鳥について】

(委員長)

続いて、市の鳥について審議したい。

先ほどと同じく、欠席委員の意見について事務局からお願いしたい。

(事務局)

欠席委員の意見を報告したい。鳥については、カタカナの「オオハクチョウ」を推薦している。

(委員長)

それではまた、一人ずつ意見をお願いしたい。

(委 員)

鳥に関しては「オオハクチョウ」を推薦させていただく。平仮名、カタカナに関しては、皆様方の審議の結果にお任せしたい。

(委員長)

では次の委員、いかがか。

(委 員)

「おおはくちょう」を推薦させていただきたい。旧むつ市が平仮名であったので、そのままでお願いしたい。

(委員長)

それでは、次の委員はいかがか。

(委 員)

鳥といっても、この辺にいるとなるとカモメになる。私の地区では、カモメのことをゴメと言い、またゴメで通っているので、カタカナで「カモメ(ゴメ)」でお願いしたい。

(委員長)

それでは、次の委員はいかがか。

(委 員)

私は「オオハクチョウ」を推薦したい。カタカナ、平仮名はどちらでも構わない。最初はカモメと思っていたが、カモメから被害を受けていることもあり、オオハクチョウとした。

(委員長)

では、次の委員はどうか。

(委員)

カモメは年中通して見ているが、ハクチョウの場合は確かに冬の期間だけという感じもあり、両方をお願いしたい。「ハクチョウ」と「カモメ」で、字はどちらでも良い。

(委員長)

それでは、次の委員はいかがか。

(委員)

田名部川には現在4羽のハクチョウがいて、エサもやっているし、かわいいので、平仮名で「おおはくちょう」を推薦したい。

(委員長)

それでは、次の委員をお願いしたい。

(委員)

「オオハクチョウ」である。カタカナ、平仮名は皆さんの意見に従いたい。やはり、子供から大人までハクチョウを知っており、この北国の下北にふさわしいということで、オオハクチョウを推薦したい。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委員)

意見募集の集計結果を見ても圧倒的にオオハクチョウという意見が多かったことを考えると、カタカナの「オオハクチョウ」がよろしいのではないかと思う。

(委員長)

それでは、次の委員はいかがか。

(委員)

一年中いる鳥はカモメの仲間であるが、私はカタカナの「オオハクチョウ」を推薦したい。オオハクチョウは種類なのでカタカナがいいと思うが、平仮名、カタカナについては、次回話し合いたいと思う。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委 員)

平仮名の「はくちょう」にしたい。

(委員長)

では、次の委員はどうか。

(委 員)

平仮名で「はくちょう」としたい。小さい子供から広く年代に関わらず、ハクチョウは認識できるのではと思う。旧むつ市が「おおはくちょう」となっていたので、見方を変えて、はくちょうとしたい。青森県で一番のハクチョウの飛来地である浅所海岸のある平内町も、「ハクチョウ」となっている。

(委員長)

では、次の委員はいかがか。

(委 員)

平仮名の「はくちょう」と思っている。その訳は、芦崎湾に来るハクチョウが何のハクチョウかよく分からないので、ただ「はくちょう」とさせていただきたい。

(委員長)

では、各委員の意見をまとめると、「オオハクチョウ」、「ハクチョウ」、あと「カモメ」があった。鳥に関しては、この3種類ということではいかがか。

(委員から「異議なし」の声あり。)

それでは、鳥については「オオハクチョウ」、「ハクチョウ」、そして「カモメ」で意見集約としたい。

これで、花・木・鳥の絞り込みが終わったが、次回の審議では、市の花・木・鳥それぞれについて、一つに絞る作業を経て、正式に決定したいのでよろしくお願ひしたい。

また、答申に付する選定理由については、今日の審議での各委員の意見を踏まえ、事務局がたたき台となる文案を作成するので、了解願ひたい。

(2) その他

(委員長)

それでは、「(2) その他」について、何かご発言はないか。

(委 員)

将来的なことであるが、今回50周年ということで市の花・木・鳥を決めるが、またいずれ見直しというのはあるか。

(事務局)

今回、制定をお願いしているのは、現在、市の花・木・鳥がないからである。前回の市の花・木・鳥については、20年前のむつ市制30周年記念事業として制定されたという経緯にある。

従って、それから20年が経ち、今回は合併により、それまであった花・木・鳥がなくなったということがあったことから制定することとなったが、そうでない限りは、改めて制定するというには至らないと考えている。

(委員長)

ほかに何かないか。

(委員)

次回の会議で、最終的に決めるために投票のようなものをやるのか。それとも意見の多いものに集約するのか。

(委員長)

事務局、どうか。

(事務局)

やはり、審議による決め方というものが一番ではないかと思う。その上でどうしてもまとまらないとなったら、それは致し方ないと考えている。

(委員長)

多数決や投票で押し切るのではなく、いろんな意見を聞きながら折り合いを付け、そしてまとめればいいと思うので、よろしくお願ひしたい。

(事務局)

補足説明となるが、先ほどの採決するのかということについては、基本的には集約という形になるが、どうしても決まらない場合は、採決という方法もあろうかと思うし、両論併記という考え方もあるが、やはり、事務局の希望とすれば、一つに絞っていただきたいと思っている。

(委員長)

ただ今の事務局の説明は、次回の会議の心構えとしてとても大事だと思う。

(委員)

市の花・木・鳥については、最終的には市議会の承認を得るのか。

(事務局)

議決事項ではないため、承認はいらぬ。

(委員長)

審議したことを市長に答申し、それを参考として市長がどう決定するかということである。

それでは、次回についてであるが、第3回委員会は、7月22日(水)午後1時30分、この場において開催したい。次回が最後であり、委員会の集大成となるので、万障お繰り合わせのうえ、ご出席いただくようお願いしたい。

4. 閉 会

(委員長)

これで本日の予定していた議事はすべて終了した。以上を持って、会議を閉じたいと思う。ご協力ありがとうございました。